

福祉・健康

妊産婦の口腔健康のために



妊産婦の口腔健康のために！

問 妊産婦の歯科口腔健康への取組について。
答 妊婦とその家族を対象とした「ゆりかご教室」で、歯科衛生士が虫歯や歯周病予防についての講話、個別の歯磨き指導を行っている。また、妊婦や親子が対象の「プレママと親子の歯みがき教室」で歯垢と虫歯菌の数を調べる検査や相談支援及び歯磨き指導を行っている。歯周病検診では、妊婦、妊産婦も受診できるよう、対象者を20歳以上から75歳までとし、保育付きの検診日を設けている。

問 妊婦・妊産婦歯科検診の実施の検討は。
答 妊婦及び妊産婦だけを対象とした歯科検診の実施予定はないが、既存の歯科保健事業を踏まえ、先行自治体の実施状況などについて調査研究していく。



こんの ゆういち
今野 雄一
議員



教育・文化

地域スポーツコミッションについて



スポーツ振興を！

問 本市のスポーツ振興の現状について。
答 スポーツ施設の整備及び維持管理、近隣大学や企業などとの連携による事業に取り組んでいる。また、市民体育祭や各種スポーツ教室を開催している。

問 今後のスポーツ振興の対応と考える。
答 第6次鶴ヶ島市総合計画で生涯学習・スポーツの振興を掲げ、誰もが健康で充実した生活を送れるまちを目指している。今後も着実に施設整備を進め、市民体育祭などの事業やスポーツ講習会開催などの支援を充実する。

問 各種団体との連携について。
答 スポーツ振興のために行政と各種団体、団体間の連携・協働が必要不可欠である。様々な団体が生き生きと活動できるように、将来を見据えた関係づくりに取り組んでいきたい。



おおそね ひでのり
大曾根 英明
議員



教育・文化

日本語指導の必要な児童・生徒の現状と対応について



日本語勉強中の児童

問 市内小中学校における日本語指導の必要な児童・生徒の現状について。
答 令和6年11月末日現在で、外国籍の小学生22人、中学生4人、日本国籍の小学生が4人の合計30人が日本語指導を必要としている。なお、市費で通訳ボランティア、県費で日本語指導を専門で行う教職員を配置している。

問 言語ボランティア団体との連携について。
答 主に市民団体「NPO法人鶴ヶ島国際友好ふれあい会」に通訳者を紹介していただき、派遣している。

問 これからも増加するであろう日本語指導の必要な児童・生徒への必要な対応について。
答 国際交流協会や市民団体と連携して通訳者派遣などをし、速やかに学校生活に適用できるように取り組んでいく。



うちの よしひろ
内野 嘉広
議員

